

第三期  
越前町子ども・子育て支援事業計画

**ニーズ調査結果報告書**

令和6年3月

越 前 町



## 1．調査の目的

平成 24 年に制定された「子ども・子育て支援法」において、市町村は、国が示す基本指針に即して、5 年を 1 期とする市町村子ども・子育て支援事業計画を作成することとされている。その計画の中では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びにそれに対応する提供体制の確保の内容及び実施時期について定めることになっている。

本調査は、町民の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」等の把握により、事業計画策定に向けた基礎資料を整備することを目的としている。

## 2．調査の方法

### (1) 調査時期

令和 5 年 1 2 月 1 1 日～令和 5 年 1 2 月 2 2 日（就学前児童の保護者）

令和 5 年 1 2 月 1 1 日～令和 5 年 1 2 月 2 2 日（小学生の保護者）

### (2) 調査方法

未就園児に対しては郵送し、それ以外は配布回収とも学校や保育園等の施設を通じた方法で行った。

### (3) 調査対象者

下記の 2 種類（就学前児童の保護者用、小学生の保護者用）の調査票を作成し、両調査ともに無記名方式により実施した。

- ・就学前児童の保護者用：町内に在住する 0 歳～ 5 歳の就学前児童の全保護者を対象とした。
- ・小学生の保護者用：町内に在住する小学校 1 年生～ 6 年生の児童の全保護者を対象とした。

## 3．配布数・回収数

就学前児童用の回収率は 79.4%（配布数 801 票、回収数 636 票、有効回答数 632 票）、小学校児童用の回収率は 89.6%（配布数 926 票、回収数 830 票、有効回答数 825 票）となった。

## 4．集計処理について

- ・回答すべき設問に回答のない場合は、いずれも「無回答」として集計した。
- ・集計表の比率については小数点第 2 位で四捨五入して表示しているため、択一回答における表中の比率の内訳を合計しても 100%に合致しない場合がある。

## 5 . 結果の概要

### < 就学前児童 ニーズ調査結果 >

#### 保護者の就労状況

- ・「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中を含む）」母親が 60%近くを占めており、パート・アルバイト等を含めると約 90%の母親が働いていることがわかる。
- ・母親の就労日数・時間は、1 週当たり「5 日」(77.6%)で、1 日当たり「8 時間」(40.9%)が最も高くなっている。
- ・「パート・アルバイト等で就労している」母親の約 50%が、今後もパート・アルバイト等を続けることを希望しており、現在未就労で「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」と回答した母親も「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」(93.3%)の就労形態を望んでいる。
- ・父親は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 90%を超え、就労日数・時間については 1 週当たり「5 日」(61.5%)、1 日当たり「8 時間」(55.7%)が最も高くなっている。

#### 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- ・平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」が 84.3%で、事業内容としては「認可保育所」が 58.7%で最も高く、次いで「認定こども園」が 35.6%となっている。
- ・1 週当たり「5 日」(92.9%)、1 日当たり「8 時間」(37.7%)、「8 時台」(57.0%)から「16 時台」(48.8%)までの利用が最も高くなっている。
- ・今後平日に定期的に利用したい教育・保育事業については、「認可保育所」が 60.6%で最も高く、次いで「認定こども園」が 48.4%となっており、現在の利用事業と比較すると「認定こども園」の希望が高くなっている。

#### 地域の子育て支援事業の利用状況

- ・地域子育て支援拠点事業を「利用していない」が 90%近くを占め、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 60%以上を占めている。

#### 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

- ・「月に 1～2 回は利用したい」と「ほぼ毎週利用したい」をあわせた「利用したい」が土曜日は 37.2%、日曜・祝日は 15.5%となっている。
- ・「月に 1～2 回は利用したい」方の理由としては、「月に数回仕事が入るため」が 74.0%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」32.6%、「息抜きのため」30.2%となっている。

#### 病気の際の対応

- ・この 1 年間子どもが病気やケガのために通常の事業が利用できなかったことが「あった」が 89.5%で、対処方法としては「母親が休んだ」が 88.1%で最も高くなっている。
- ・父親や母親が仕事を休んで対処した方のうち 30%の方が、病児・病後児保育施設等の

利用を希望している。

- ・利用したい日数（年間）としては、「1～5日」が38.9%で最も高く、次いで「6～10日」が26.7%となっている。
- ・病児・病後児保育施設等を利用したかったが、予約できなかったことが「あった」は33.6%となっている

不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

- ・不定期の事業を利用した方のうち、「認定こども園・幼稚園の預かり保育」が3.8%で最も高く、利用日数は「1～5日」が12人(50.0%)で最も高くなっている。
- ・不定期の事業を「利用したい」が36.6%で、利用目的としては「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が74.9%、利用希望日数としては「1～5日」(40.5%)が最も高くなっている。
- ・保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外に預けるサービスを「利用したい」が11.7%で、その理由としては「保護者や家族の育児疲れ・不安」(74.3%)が最も高くなっている。

来年度就学予定の子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・小学校低学年で放課後の時間を過ごさせたい場所としては、「放課後児童クラブ(学童保育)」が48.1%で最も高く、次いで「自宅」が45.2%、「児童館」が37.5%となっており、「放課後児童クラブ(学童保育)」と「児童館」の希望日数は「5日」が最も高くなっている。
- ・小学校高学年で放課後の時間を過ごさせたい場所としては「自宅」が63.5%で最も高く、次いで「習い事」が31.7%となっている。低学年と比べると「自宅」が増え、「児童館」と「放課後児童クラブ(学童保育)」が減っている。

育児休業や短期時間勤務制度など職場の両立支援制度について

- ・育児休業の取得状況について、「取得した(取得中である)」母親が75.5%なのに対し、父親は11.9%と大きな差が出ている。
- ・育児休業を取得していない場合の理由で、母親は「子育てや家事に専念するために退職した」が34.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が10.0%となっている。
- ・育児休業を取得していない場合の理由で、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」が45.4%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が45.0%となっている。
- ・短期時間勤務制度の利用については、「利用した」方が母親は44.2%、父親は4.3%となっている。

生活実態や家計の状況について

- ・子どもにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものについて、「家庭での食材料費」が52.7%で最も高く、次いで「衣類の購入費」が48.4%となっている。
- ・子どもに対して必要以上の厳しさで接していると思う事について、「あった」(よくある(あった))10.8%と「時々ある(あった)」46.2%の合計)が57.0%となっている。

- ・自身が虐待をしたり周りでされているのを発見したりした時の通告先や、子育て親子関係に関する相談先について、「知らない」が25.3%となっている。

#### 悩みや不安について

- ・子育てに関して不安感や負担感について、「非常に不安や負担を感じる」と「少し不安や負担を感じる」の2つを合わせた『不安や負担を感じる』は50.8%で、半数以上になっている。
- ・子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることについて、「自分の自由な時間が持てない」が61.7%で最も高く、次いで「子育てで出費がかさむ」が56.4%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が55.8%となっている。

#### 子どもの施策について

- ・越前町の子育て支援施策に期待すること・重要なことは、「保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」が45.7%で最も高くなっている。

### <小学生 ニーズ調査結果>

#### 放課後の過ごし方について

- ・現在、放課後を過ごしている場所としては、「自宅」が78.7%で最も高く、次いで「習い事」が35.2%となっており、「自宅」は「週5日」(44.4%)が、「習い事」は「週1日」(50.3%)が最も高くなっている。
- ・今後、放課後を過ごさせたい場所も「自宅」が75.5%で最も高く、次いで「習い事」が36.2%となっている。
- ・放課後児童クラブの利用を希望する理由としては、「就労しており、子どもの面倒をみる人がいないから」が90%近くを占めています。
- ・放課後児童クラブを「利用したい」が土曜日は17.8%、長期休暇中が30.8%で、長期休暇中の利用希望が多くなっている。

#### 子どもの居場所について

- ・子ども同士が交流できる場に望ましい内容としては、「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」が73.9%で最も高くなっている。
- ・子どもがよく利用する公共施設については、「公園」が最も高く40.5%、次いで「児童館」が28.0%、「図書館」が22.3%となっている。

#### 悩みや不安について

- ・子育てに関して不安感や負担感について、「非常に不安や負担を感じる」と「少し不安や負担を感じる」の2つを合わせた『不安や負担を感じる』は45.6%となっている。
- ・子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることについて、「子育てで出費がかさむ」が66.8%で最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が38.3%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が37.5%となっている。

#### 生活実態や家計の状況について

- ・子どもにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものについて、「制服・体操服の購入費」が64.4%で最も高く、次いで「学習塾や習い事にかかる費用」が49.8%となっている。
- ・子どもに対して必要以上の厳しさに接していると思う事について、「あった」(よくある(あった))12.6%と「時々ある(あった)」51.3%の合計)が63.9%となっている。
- ・自身が虐待をしたり周りでされているのを発見したりした時の通告先や、子育て親子関係に関する相談先について、「知らない」が29.6%となっている。

#### 子どもの施策について

- ・越前町の子育て支援施策に期待すること・重要なについて、「子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実」が35.9%で最も高く、次いで「保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」33.9%となっている。

# 目次

<b>第1章 就学前児童 ニーズ調査結果</b>	1
<b>1-1 住まいの地域</b>	1
問1：居住している地域	1
<b>1-2 子どもと家族の状況</b>	2
問2：子どもの生年月	2
問3：子どもの数	2
問4：回答者の続柄	3
問5：回答者の配偶者の有無	3
問6：子育て（教育を含む）を主に行っている保護者	4
<b>1-3 育ちをめぐる環境</b>	5
問7：子育て（教育を含む）に最も影響する環境	5
問8：子どもを預けられる親族・知人の有無	6
問9：子育ての相談相手の有無と相談先	7
問10：子育てをする上であればよいと思う周囲のサポート	8
<b>1-4 保護者の就労状況</b>	10
問11：保護者の現在の就労状況	10
問12：保護者の現在の就労日数・時間	12
問13：パート・アルバイト就労中の保護者のフルタイムへの転換希望	17
問14：未就労の保護者の就労希望	18
<b>1-5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況</b>	22
問15：平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無	22
問16：利用している教育・保育事業の種類	23
問17：利用している教育・保育事業の利用量	25
問18：平日に教育・保育事業を利用していない理由	29
問19：今後平日に定期的に利用したい教育・保育事業	31
<b>1-6 地域の子育て支援事業の利用状況</b>	32
問20：子育て支援センター等の利用状況	32
問21：子育て支援センター等の今後の利用希望	35
問22：地域の子育て支援事業の認知度・利用状況及び今後の希望	38
<b>1-7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望</b>	43
問23：土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望時間	43

問 24：たまに利用したい理由	48
<b>1 - 8 病気の際の対応</b>	49
問 25：子どもの病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できなかったことの有無、 その際の対処方法と日数	49
問 26：病児・病後児保育施設等の利用希望と利用希望日数	52
問 27：病児・病後児保育施設の予約状況と予約できなかった回数	54
問 28：病児・病後児の保育施設等の利用を希望しない理由	54
<b>1 - 9 不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用</b>	55
問 29：私用や親の通院、不定期の就労等を理由として家族以外に預けたことの有無 及び利用日数	55
問 30：現在利用していない理由	56
問 31：私用や親の通院、不定期の就労等を理由とする利用希望の有無、利用目的と 利用希望日数	57
問 32：保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外に預ける必要性の有無、 利用目的と利用希望泊数	59
<b>1 - 10 来年度就学予定の子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方</b>	60
問 33 ( 1 )：小学校低学年で放課後の時間を過ごさせたい場所と利用希望日数	60
問 33 ( 2 )：小学校高学年で放課後の時間を過ごさせたい場所と利用希望日数	62
問 34：土曜日の放課後児童クラブの利用希望と利用希望時間	63
問 35：長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望と利用希望時間	65
<b>1 - 11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について</b>	68
問 36：父母の育児休業の取得状況及び取得していない場合の理由	68
問 37：職場復帰の状況	74
問 38：実際の職場復帰時期と希望していた時期	76
問 39：職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無	79
問 40：仕事・家事（育児）・プライベートの優先度（希望・現実）	81
<b>1 - 12 生活実態や家計の状況について</b>	83
問 41：子どもにかかる費用	83
問 42：子どもへの接し方	83
問 43：虐待に関する通告先や、子育てに関する相談先の認知度	84
<b>1 - 13 悩みや不安について</b>	85
問 44：子育てに関しての不安感や負担感	85
問 45：子育てに関して特に不安に思っていること、悩んでいること	85

<b>1 - 14 子どもの施策について</b>	86
問 46：越前町が子育てしやすい環境であるかについて	86
問 47：安心して子どもを産み育てるための地域での取り組みについて	87
問 48：子育てに関する情報の入手先	88
問 49：越前町の子育て支援施策への期待・重要	89
教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見	91

<b>第 2 章 小学生 ニーズ調査結果</b>	93
--------------------------	----

<b>2 - 1 住まいの地域</b>	93
問 1：居住している地域	93
<b>2 - 2 子どもと家族の状況</b>	94
問 2：子どもの生年月	94
問 3：子ども全員の人数	94
問 4：回答者の続柄	95
問 5：回答者の配偶者の有無	95
問 6：主に子育てを行っている方	96
問 7：同居・近居の状況	96
<b>2 - 3 放課後の過ごし方について</b>	97
問 8：現在、放課後を過ごしている場所と日数	97
問 9：今後、放課後を過ごさせたい場所と希望日数	99
問 10：放課後児童クラブについて、利用希望の理由	101
問 11：小学生低学年の子どもに放課後児童クラブは必要か	102
問 12：小学生高学年の子どもに放課後児童クラブは必要か	103
問 13：土曜日の放課後児童クラブの利用希望と利用希望時間	104
問 14：長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望と利用希望時間	107
問 15：子どもの放課後児童クラブの利用にあたり希望や悩みについての意見	109
<b>2 - 4 子どもの居場所について</b>	110
問 16：交流の場として望ましい内容	110
問 17：子どもがよく利用する公共施設	111
問 18：児童館を利用しない理由	112
<b>2 - 5 地域活動への参加状況</b>	113
問 19：地域活動への参加の有無	113
問 20：参加したい活動	113

<b>2 - 6 悩みや不安について</b>	115
問 21：子育てに関する不安感や負担感	115
問 22：子育てに関して特に不安に思っていること、悩んでいること	116
問 23：子育ての相談先の有無、相談先	117
問 24：仕事・家事（育児）・プライベートの優先度	118
<b>2 - 7 生活実態や家計の状況</b>	119
問 25：経済的に負担大の子供にかかる費用	119
問 26：子どもに対しての接し方	120
問 27：虐待に関する相談先の認知	120
<b>2 - 8 子どもの施策について</b>	121
問 28：越前町が子どもを育てやすい環境であるかについて	121
問 29：安心して子どもを産み育てるための地域での取り組みについて	122
問 30：子育てに関する情報の入手先	123
問 31：越前町の子育て支援施策への期待・重要 教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関する意見	124 125

<b>第3章 「量の見込み」の算出</b>	129
<b>3-1 「量の見込み」算出の概要</b>	129
<b>3-2 人口推計</b>	131
<b>3-3 潜在的な家庭類型の算出</b>	134
<b>3-4 教育・保育の量の見込みの算出</b>	136
（1）1号認定（認定こども園及び幼稚園）	136
（2）2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）	138
（3）2号認定（認定こども園及び保育所）	140
（4）3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	142
<b>3-5 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出</b>	145
（1）時間外保育事業	145
（2）放課後児童健全育成事業	147
（3）子育て短期支援事業	161
（4）地域子育て支援拠点事業	164
（5）一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助活動 支援事業	175

( 6 ) 病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [ 病児・緊急対応強化事業 ])	182
( 7 ) 子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業、就学児のみ)	184
( 8 ) 利用者支援事業	184

<b>資料編</b>	185
1 . 就学前自由意見	185
2 . 小学生自由意見	203
3 . 就学前児童用調査票	218
4 . 小学生用調査票	247

\* 「 」は、今回調査で新しく加えた設問に記載。